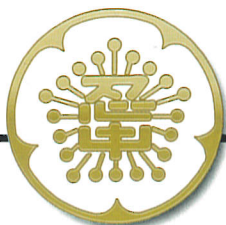


第187号
令和3年
7月12日発行



忍中PTA会報

- PTAの目標
- 1、本校生徒の幸福を増進する。
 - 2、学校教育、家庭教育のよりよい効果をあげるために協力する。
 - 3、会員相互の教養の向上と親睦をはかる。
 - 4、ひろく地域社会との連携のもとに、教育の向上をはかる。

教育目標

- 白梅精神の発展をめざし
- 根気よく心身を鍛える
 - 深く考えくふうする
 - 思いやりの心をもつ

発行/台東区立忍岡中学校PTA 台東区上野公園18-20 編集/P.T.A本部 責任者/P.T.A会長 岡本 俊夫



がんばろう忍中

PTA会長 岡本 俊夫

今年度PTA会長を務めさせて頂きます、岡本俊夫と申します。

微力ながら忍岡中の子供たちのために頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、今年度も新型コロナウイルス



中学校生活での「失敗」をどのように捉えるか

校長 平井 邦明

新型コロナウイルス感染症との「戦い」は「共生」と捉えるべきではないかと思うほど長期化しています。この原稿が掲載される頃には、ワクチン接種が順調に進むなど少しでも状況が改善していることを願っています。

さて、子供たちは、今、心身共に大きく成長する中学校生活を送っています。中学校生活は三年間しかありませんが、今後の人生を決める重要な期間であることは間違いありません。

新型コロナウイルス感染症。そのため、「この期間にどれだけ自分を成長させられるか。」が大切になります。それでは、「成長」に必要なものは何でしょうか？
それは、「失敗」です。私たちが経験したことのない「不透明な世の中」を生き抜いていく子供たちには、間違いなく「こころの粘り強さ」が求められます。そして、この力を身に付けるためには、中学校生活での「失敗」経験が増えた」と、大人が捉

イルス感染症の影響により、学校生活や行事に大幅な変更があり、PTA活動においても急な変更をせざるを得ない状況です。今後引き続き様子を見ながらの活動になりますが、「例年どおり」とは違う今、PTA

として何ができるのかを柔軟に考えながら、活動をしていきたいと思えます。

その為には、皆様の御理解と御協力が不可欠です。是非行事ごとに募る「サポート隊」にも御参加いただき、子供たちにとって、一生に一度しかない中学校生活を、応援していきましょう。

保護者、学校、地域で力を合わせて、たくさん笑顔を作っていただけたら幸いです。

えることが必要であると考えます。

私たちは多くの「成功」や「失敗」を経験しているため、子供たちの行動や可能性を、自身の経験に照らして判断しようとしません。これは、ある意味仕方のないことです。

しかし、世の中は、「失敗しながら、少しずつでも前進できれば何とかなる」ものです。そのため、子供たちには「様々な失敗」を、「大いなる成長」に繋げて欲しいと思います。

今後も感染状況を睨みながらの教育活動となるため、様々な計画の変更が予想されますが、保護者の皆様の御理解御協力をよろしくお願い申し上げます。



体育大会に向けて

三年二組

今回の体育大会は新型コロナウイルス感染症防止のため、リバーサイドで行うことができなくなり、とても悔しいです。しかし、ここで落ち込むのではなく、制限された校庭での体育大会代替大会ですが、学年やクラスで一致団結し、最高の体育大会になるように準備していきます。また、クラスで総合優勝をとれるように、一人一人が全力で取り組み、全力で応援し、熱くて盛大に盛り上がる大会にできるようにしていきます！



※写真は練習風景です。



三年一組

私たち三年一組は、選抜リレー・選抜駅伝・全級リレー全ての競技で優勝を目指しています。全級リレーでは、速い人が長く走れるようにバトンスのスタートの位置などを工夫しています。また、唯一全学年で行う忍中体操も指先まで意識をし、三年生が手本になれるよう練習しています。今年規模が縮小されて体育大会が行われませんが、最高の思い出となるように学級で協力し全力で戦いたいと思います。



上級生が下級生に
忍中体操を伝授する様子

三年三組

今年の体育大会は新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小した形で実施されることとなりました。規模は縮小されてしまいましたが、僕たちは中学校生活最後の体育大会を成功させようと必死に練習に取り組んできました。今も伝統として受け継がれている忍中体操をクラスや全体などで体育大会実行委員が中心となって練習しています。また、全体練習では三年生としての姿を下級生に見せることもできました。そして三年三組は、「ガッツマン29」として中学校生活最後の体育大会を成功させられるように精一杯努力します。